

2024年1月20日  
13:00～15:10

## 繊維学会 第707回 理事会議事録

### 1. 確認事項

**出席理事** 大田康雄、辻井敬亘、奧林里子、武野明義、鬘谷要、花田朋美、濱田仁美、木村睦、増田正人、大松沢明宏、逸見龍哉、松葉豪、末信一朗、清水宏泰、森下美由紀、櫻井伸一、内田哲也、  
**欠席理事** 村瀬浩貴、吉村利夫、竹中幹人、齋藤継之、道信剛志、神山統光、出口潤子、山崎睦生、竹本慎一、中澤靖元、佐瀬正和、吉松丈博、香出健司  
**監事** 土田亮、小原奈津子  
**欠席監事** 金谷利治

(敬称略)

**会場** 対面開催 (京都アカデミアフォーラム in 丸の内)

大田会長より能登半島地震についてのお見舞いが伝えられ、末北陸支部長から現在の現状があった。また、今回よりオブザーバー参加として東洋紡エムシー株式会社の増森忠雄氏が参加することが伝えられた。大田会長の司会で、理事30名のうち、出席理事17名、監事2名の出席を確認した。過半数の理事の出席があり、定款36条により本理事会は有効に成立した。本理事会は、対面開催にて行い、理事の意思表示は発言や挙手にて決議した。続けて、大田会長が議長となり議事に入った。

### 2. 審議事項

#### 1) 会員入退会の件・・・<資料1>

事務局より1月17日(水)現在の会員数について別紙の通り報告された。入退会について異議なく承認された。承認された内容は、正会員数1020名(正会員947名、名誉会員15名、永年会員58名)、学生会員452名、維持会員12団体(増減なし)、賛助会員89団体である。学生会員数の増加は、年次大会での発表や参加に伴うものであることが伝えられた。正会員の退会者の多くは高齢化や退職、ご逝去によるものであり会員減少についての懸念が伝えられた。理事へは、今後の会員増強に関する協力が求められた。

#### 2) 創立80周年記念事業の件について・・・<資料2>

現地実行委員長である櫻井関西支部長よりISF2024の準備状況について説明がなされた。2月初旬の発表・参加登録開始に向けてホームページの準備を進めていること、実行委員(約50名)への就任を依頼中であることなどが伝えられた。ISF2024のスケジュール、秋季研究発表会と一部合同開催などの説明に加え、別紙の通りISF2024の予算案について説明がなされた。また、本会議の業務委託先としてプリマツアーズ株式会社、組織委員長として大田会長、組織委員として現理事・監事への就任を依頼することが提議された。

#### 【審議結果】

提議について、全て異議なく承認された。また、6月の総会以降、新理事会メンバーへも組織委員就任を依頼することが提案され、異議なく承認された。また、木村国際連携委員長

より ATC-17 (台湾) の開催時期が近いことから、台湾側との連携についても提案がなされ、理事会から前向きな検討について同意が得られた。繊維学会事務局から ATC-17 事務局へ ISF2024 の情報共有を行うなど、本件について引き続き、参加者募集のための各所と連携していくことで承認された。

3) 将来構想委員会 SFSTJ アクションプラン (案) について・・・<資料机上配布>

将来構想委員会提案の SFSTJ アクションプラン (案) について奥林運営委員長より説明がなされた。中間報告として、委員 17 名のうち 15 名から SFSTJ アクションプラン (案) を承認する回答が得られていることが資料とともに報告された。繊維系三学会合併の位置付けについての意見も共有された。三学会合併に関して前向きな意見が多数あった一方、「今回の委員会の議論では合併を前提としていないため、現時点では切り離しておくべき」や、「合併と本件は別なので再検討が進んで行った中でもう一度議論するべき」、「合併ありきはよくない」などの意見もあった。また、アクションプランを実現させるため、時間軸を示して、具体的な計画が必要であるとの意見や財政・事務局の問題については合併前にクリアにすべきであること、予算計画やロードマップが会員へ提示されなかったことを指摘する意見も散見された。財政効率化の一方で、アクションプランを実現するためには、ある程度の事務局人員も必要であり、ある程度の費用が必要になるのではないかなどの意見も出された。

**【審議結果】**

SFSTJ アクションプラン (案) を中間報告とし、今後も継続してブラッシュアップしていくことで同意が得られた。まずは、ブラッシュアップしたアクションプランを今後の理事会で共有し承認いただくこととした。承認されたあかつきには、学会誌並びにホームページにおいて将来構想委員会からの提案として本アクションプランを会員へ提示することで異議なく承認された。

### 3. 報告事項

1) 三学会合併に関する検討再開の件について・・・<資料 3 >

・「三学会統合に関する検討の再開についてのお知らせ」繊維学会誌 1 月号、HP 掲載  
・上記お知らせに対して、会員 3 名からの寄せられた意見が共有 (妙訳と原文) された。理事・会長の選出方法・決定方法について検討すべきであることや、高齢化が著しい二学会との合併で会員減少が加速することへの懸念、管理費が学会費収入を上回る団体との合併により財政的問題を抱え込む事への懸念、職員の処遇の正当性について等の意見があった。職員の処遇については、合併の有無に関わらず、社労士との面談を予定しており、今後の進捗については理事会等で報告を行うことが報告された。

2) 本年度収支見通しについて・・・<資料 4 >

・資料に基づき、1 月初旬時点での会費収入状況、開催行事収支、学会誌印刷費、管理費等について説明がなされた。会費収入については、凡そ予算案通りである事、開催行事については、収支差が予算案を大きく下回る現状が報告された。ただ、学会員の人的交流や研究発表の成果としては大変素晴らしい結果が得られた事が伝えられた。学会誌印刷費用についても凡そ予算案通りである一方、学会誌広告収入の落込みが著しく、懸案事項であることも伝えられた。

- 3) 次年度事業（本部事業）、支部・研究委員会事業計画について
  - ・11月末に各支部、研究委員会委員長へ依頼済み、複数回答待ちがあるため、改めて依頼。回答が揃い次第、次年度予算の準備に入ることが伝えられた。
- 4) 本年度学会賞各賞応募結果と選考委員会開催について
  - ・2024年2月17日（土）13時よりオンラインにて開催することが報告された。
  - ・運営委員長を中心に15名の選考委員にて、学会賞3名、技術賞1件、奨励賞1名、功績賞2名に対する選考を行う。
- 5) 企画委員会 応用講座の開催報告
  - ・2024年1月15日（月）に京都大学化学研究所での対面とオンラインによるハイブリッドにて開催した。参加者は講師4名を含む74名が参加した。辻井企画委員長の提案によるパネルディスカッションが大変好評であった。多くの参加者から見逃し配信の希望が寄せられる素晴らしい講座であった。
- 6) 報告・連絡事項
  - ① 東北・北海道支部（支部長 松葉理事）
    - ・日中繊維シンポジウム（共催）報告  
2023年12月11日（月）～12日（火）に北海道大学 学術交流会館 小講堂で開催し、37名の参加者で開催された。
    - ・北海道紙・パルプ技術懇談会（共催）  
日時：2024年3月6日（水）  
会場：北海道大学農学部 総合研究棟 W109 多目的室
    - ・繊維学会東北・北海道支部講演会  
日時：2024年3月開催予定  
会場：未定
  - ② 関東支部（支部長 中澤理事）
    - ・関東支部講演会  
日時：2024年3月18日（月）  
会場：東京農工大学 東小金井キャンパス
    - ・2024年度年次大会  
展示、広告掲載への協力依頼、発表・参加募集は12月中旬を予定  
2027年度会場の提案のお願い
  - ③ 東海支部（支部長 武野理事）
    - ・第36回東海支部若手繊維研究会（共催）  
2023年12月9日（土）に岐阜大学、オンライン開催。参加者35名19件の発表があった。
  - ④ 北陸支部（支部長 末理事）
    - ・繊維学会北陸支部・日本繊維機械学会北陸支部・研究発表会  
2023年12月11日（月）に金沢大学 バイオマスグリーンイノベーションセンター ステップホールで開催し、32名の参加者があった。
    - ・先端技術研究会及び、福井大学繊維マテリアル研究センター研究発表会（共催）

2024年3月開催予定、講演2件

- ・ 繊維学会報数学会普及講演会

日時：2024年4月18日(木)午後

会場：福井県工業技術センター

仮題：「災害に備える繊維技術」講演5件程度、講師選定中

⑤ 関西支部（支部長 櫻井理事）

- ・ 秋研に対するコンベンション補助金申請手続き完了のご報告（金額15万円）

- ・ 関西支部長交代の予定（京都大学・上高原浩氏 内諾済）

- ・ 次年度秋季研究発表会実行委員長についても、上高原浩氏にて開催

日時：2024年11月28日(木)～29日(金)

会場：京都テルサ

⑥ 西部支部（支部長 吉村理事）

- ・ 第38回繊維学会西部支部講演会・見学会

2023年12月22日(金)に（株）大石膏盛堂、佐賀大学工学部で開催

- ・ 第8回繊維学部西部支部若手講演会

日時：2024年3月18日(月)14:00～

会場：九州大学 伊都キャンパス

⑦ 研究委員会関係について

- ・ 繊維基礎化学研究委員会 委員長交代の件

櫻井伸一委員長より、丸林弘典委員長へ交代

7) 各委員会からの報告等について

① 運営委員会

特になし

② 将来構想委員会

特になし

③ 国際連携委員会・・・<資料机上配布>

- ・ 繊維系三学会における国際連携戦略に対する日本繊維機械学会からの回答について木村委員長より報告がなされた。

8) 編集委員会の報告

- ① 繊維学会誌・・・内田編集委員長より順調に発行準備が進んでいること、寄稿に関する協力の御礼が伝えられた。

- ② 論文誌 JFST・・・鬘谷編集委員長より投稿数は例年並みで、順調に進んでいること、論文賞選考について手続き準備中であることが伝えられた。IF向上に向けて、棚橋先生より継続してアドバイスをいただきたいこと、連携についても今後前向きに進めていきたい旨が伝えられた。

9) その他案件

- ① 学会誌広告掲載計画と協力要請の依頼について・・・<資料5>

資料5と共に、今後の学会誌広告掲載について事務局、大田会長から協力を依頼した。

- ② 今後の理事会日程について

3月23日(土)、5月18日(土) オンライン開催  
 6月14日(金) 臨時理事会、対面開催(東京・船堀)  
 7月27日(土) 対面開催(東京または関西)  
 9月7日(土)、11月16日(土) オンライン開催  
 2025年1月18日(土) 対面開催

3月22日(土) オンライン開催

2023年度監査委員会 2024年4月27日(土) 対面開催・繊維学部事務局

③ 今後の学会行事担当について

|         | 2024年 | 2025年    | 2026年 | 2027年 | 2028年    |
|---------|-------|----------|-------|-------|----------|
| 年次大会    | 関東支部  | 関東支部     | 関東支部  | 関東支部  | 関東支部     |
| 夏季セミナー  | 中止    | 西部支部     | 北陸支部  | 東海支部  | 東北・北海道支部 |
| 秋季研究発表会 | 関西支部  | 東北・北海道支部 | 関西支部  | 関西支部  | 関西支部     |

4. 監事コメント

【土田監事】

今までは10年ごとの国際会議を開催する度にその収支で赤字を補填して10年を乗り切るようなところがあった。ぜひ今回も、櫻井先生、辻井先生を中心に理事の皆様の協力のもと80周年記念国際会議の成功に向けて協力し進めてほしい。また、アクションプラン取りまとめに関する感謝が伝えられ、実行できるよう、案をより具体化することが求められた。合併検討再開に関する会員からの意見については「学会への攻撃」ではなく、「仲間からの進言」と受け止め、間違っているものは正し、改善するところは改善していけるよう努めてほしい。また、JFSTのIF向上の為、会員へ投稿を促すなども今後検討するべきである。

【小原監事】

将来構想委員会をはじめ真摯な、忌憚のない意見で運営されていると拝見した。これからも、継続して活発な意見交換で進めていっていただきたい。会員からの意見に関して真摯に受け止める必要がある一方、一部の会員からの意見をどの様に受け止めるべきか悩ましい部分もあるが、意見を言わない会員の中にも、今回の意見と同様に懸念を感じている人もいます。理事会に対する不信感を払拭できるような丁寧な説明や工夫、要らぬ誤解を招くことがないような進め方が求められていると感じましたので、そのように進めていただけるようお願いしたい。

第707回理事会 議事録署名人捺印

議長: \_\_\_\_\_ 印

監事: \_\_\_\_\_ 印

監事: \_\_\_\_\_ 印

監事: \_\_\_\_\_ 印

以上